

# 平成26年度予算見積調書

課室名： 少子政策課  
 担当名： 保育施設担当  
 内線： 3328

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B101	待機児童対策とことん活用事業費			一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	保育所待機児童対策費		
事業期間	平成26年度～	根拠法令	(1)及び(2)安心・元気！保育サービス支援事業費補助金交付要綱、(3)及び(4)保育緊急確保事業	戦略項目		01	子育ての安心			
				分野施策		010101	子育て支援の充実			
<p>1 事業の概要</p> <p>幼稚園の空きスペースを有効活用し、保育を必要とする家庭が幼稚園を利用しやすい環境を整えるとともに、保護者のニーズに合った保育サービスを提供できるよう相談体制を構築し、増大する保育需要に対応する。</p> <p>(1) 幼稚園保育室促進事業 258,915千円                      (2) 利用者支援事業 46,773千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 幼稚園保育室促進事業 【21か所/受入枠495人分】 258,915千円                      幼稚園の空きスペースを保育室として利用する場合に、改修費や運営費を補助する。</p> <p>イ 利用者支援事業 26市町分 46,773千円                      保護者のニーズに合った保育サービス等（保育所、幼稚園等）を提案する専門の相談員（保育コンシェルジュ）を市町村が配置した場合に、運営費を助成する。</p> <p>(2) 事業計画                      平成26年度 保育サービス受入枠 495人分増</p> <p>(3) 事業効果                      受入れ枠増とともに既存施設の有効利用により、早期の待機児童の解消に資する。                      【5か年計画施策指標】保育所待機児童数 1,186人（平成23年4月） 550人（平成29年4月）</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況                      私立保育所、私立幼稚園等と連携した保育所待機児童対策</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(1) 改修費（基金2/3）、市町村1/12、事業者1/4                      運営費 国1/2、（県1/4）、市町村1/4                      (2) 国1/3、（県1/3）、市町村1/3</p>										
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>あり</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.5人=4,750千円</p>										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
決定額	305,688	繰入金						86,688	305,688	
前年額										